

サンライズ SUNRISE



壬生町立壬生小学校
4年3組学級だより
第1号
令和2年5月27日(水)

緊急事態宣言が解除され、約3か月にわたる学校休業も、もうすぐ終わりです。明るい兆しが見えてきました。保護者の皆様には、様々なご苦労があったと思います。そんな中、課題の配付や「ゆうがおネッターニング」の視聴などにご協力くださりまして、ありがとうございます。大変お世話になりました。改めまして、4年3組担任の鈴木郷平です。1年間よろしく願いいたします。

名前	鈴木 郷平 (すずき きょうへい)
誕生日	7月30日 (夏は大好きです。今年33歳になります。)
血液型	O型 (おおざっぱ!いやいや…。ネットの記事によるとO型は負けず嫌いらしいです。)
趣味	野球観戦 (小さいころから巨人ファンです。松井選手、上原選手が好きでした。) ランニング (最近は週3、4回走っています。ゆうがおマラソンにも出ています。)
好きな食べ物	ラーメン、かにクリームコロッケ、春巻き、杏仁豆腐 (給食で春巻きが出た時だけはおかわりじゃんけんに参加します。)
好きな漫画	ドラゴンボール、スラムダンク、鬼滅の刃 (最近はまっています。伊之助が好きです。)

先週の分散登校では、久しぶりに子どもたちと会えるということで、私自身、どきどきわくわくしていました。朝、子どもたちと顔を合わせると、久しぶりに学校に来られて嬉しそうな顔をしていました。1時間目の学活の時間では、学級目標に入りたい言葉を考えさせました。最初は緊張からか、なかなか意見が出ませんでした。話し合いが進むにつれて活発に意見が出るようになり、「こんなクラスにしていきたい」という一人一人の思いがとも伝わってきました。半日ではありましたが、子どもたちと話をしたり、授業をしたり、一緒に遊んだりして、子どもたちとともに過ごせる喜びや、「やっぱり先生っていいな。」なんてことをしみじみ感じました。来週、クラス全員がそろそろ日がまた楽しみです。

さて、4年生というのは、言動や考え方が徐々に大人びてくる年頃です。「9歳の壁」「10歳の壁」という言葉を聞いたことがあるでしょうか。文部科学省では、以下のように説明しています。

9歳以降の小学校高学年の時期には、幼児期を離れ、物事をある程度対象化して認識することができるようになる。対象との間に距離をおいた分析ができるようになり、知的な活動においてもより分化した追求が可能となる。自分のことも客観的にとらえられるようになるが、一方、発達の個人差も顕著になる。(いわゆる「9歳の壁」) 身体も大きく成長し、自己肯定感を持ち始める時期であるが、反面、発達の個人差も大きく見られることから、自己に対する肯定的な意識を持たず、劣等感を持ちやすくなる時期でもある。

(引用元：文部科学省 | 3. 子どもの発達段階ごとの特徴と重視すべき課題)

そんな時期の子どもたちだからこそ、「自己肯定感の育成」が重要になってきます。そのためには、ほめることが大切です。具体的にほめることです。本人に何がよかったのかを理解させ、自分の頑張りに喜びを感じさせることで自己肯定感を高め、「次も頑張ろう!」という意欲や向上心をもてるようにしていきたいです。学校と家庭の両方でたくさんほめていけたらと思います。

壬生小の教育目標をもとに、以下のことに力を入れて学級経営を行っていきたいと考えています。

- | | |
|-------|--|
| やさしく | ・いじめは絶対に許さない。 ・下級生のお手本となる。
◎ 一人一人のよさを認め合い、全員が笑顔で過ごせる居心地のいいクラスを目指します。 |
| かしこく | ・「なぜ?」「どうして?」を大切に。 ・家庭学習に毎日しっかり取り組む。(50分)
◎ 「わかる」「できるようになる」喜びをたくさん感じさせ、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう力」を身に付けさせていきます。 |
| たくましく | ・本気で運動に取り組む。 ・苦手なこと、難しいことにも挑戦していく勇気をもつ。
◎ 体力と根気強さを身に付けさせ、心身ともに健康な児童を育成します。 |

